



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員

病児保育のニーズを把握しても、実施しない理由は

町長 本町の人口規模、施設の体制では非常に困難である

様々な調査結果を町政にどのように反映させていくのか

質問 ①令和元年度の「買い物調査」はどのように施策へ反映されたのでしょうか。

町長 現状や課題を分析した報告が、本年3月に提出されたところで、現時点では施策へ反映していません。速やかに課題を抽出し、特に経済団体等と共有して解決していくことや、市民の協力をいただくことが必要だと思います。

質問 ②町民意向調査で指摘された「交通の便が悪い」という点に関して、名士バスの利用拡大や利便性向上に向けた独自の取り組みはありますか。

町長 コミュニティバスとの乗り継ぎを考慮した運行、待合所の改修等を実施して、利用者の利便性を高めています。

再質問 待合室を改修して、利用者数が増えたのでしょうか。

町長 利用者が増えたということではありません。

再質問 存続が問題になると、乗客が少ない、収入が上がらない、それなら減便だと数字の議

論となります。

乗り放題バスポートの通年化や、興部から名寄までの4市町村で企画を立てて利用促進を図ることができないでしょうか。

町長 乗り放題等の長期化や、イベント等を行うことで利用客を増やすことも必要かと思えます。これらについては運営協議会等で提案、協議したいと思えます。

質問 ③昨年9月定例会で公区制度について「公区長へアンケートを行う」と答弁がありました。その結果に対応しましたか。

町長 各課から配布される内容の整理や調整を進めて、可能な限り公区回覧の負担軽減に努めています。

再質問 世帯数の多い公区長の委託料増額や、委託する業務の量を減らすといった検討をするのでしょうか。

税務住民課長 委託料についての指摘は公区長からいただいております。今後検討したいと思っております。

質問 ④『第2期下川町子ども子育て支援事業計画』について、病児保育を実施しないとあります。第1期計画では「ニーズの

推移等を見極め、今後の検討事項」とあります。そして今回は「向こう5年間は毎年20人前後の「ニーズ」と分析しています。

5年かけて「ニーズ」を把握し検討した結果が今回の計画だと思っております。それでも実施しない特別な理由があるのでしょうか。

町長 本町の人口規模、病院、認定こども園の体制を検討したところ、病児保育は非常に困難だという結論にいたしました。

再質問 先ごろ発表された『下川町共育ビジョン』では「子どもやこれから生まれる命のために地域、家庭、学校、保育施設が対話し、変化を恐れず、知恵と工夫を生み出し行動します」とあります。

しかし、この計画では「様々な理由で実施しない」とあるが、結局はどちらなのでしょう。
町長 理想ばかりで物事を創造するのは非常に難しいと思っております。

新型コロナウイルスの経済、雇用への影響について

質問 コロナ禍の影響による失

業者や内定取消となった新卒者の採用計画はありますか。また、学生の進路についても影響がないよう、町として手を打つべきではないでしょうか。

町長 現在、町としては、緊急的な採用は計画していませんが、会計年度任用職員は、引き続き募集をしています。

教育長 商業高校やハローワークによると、名寄管内での新卒者の内定取消者は無いとのこと。また、商業高校によると、厳しい環境が想定されるなか、12年連続進学・就職100%を継続できるよう努めたいとのこと。

再質問 最悪の事態も想定して先手を打ち、その姿勢を市民に理解してもらうことで、町が一つとなって知恵を出し合って乗り越えていくことができるのではないのでしょうか。

町長 住民の幸せ感や、生活弱者の方々の支援というのを行政はしっかりサポートしていくことが必要です。

今後もしっかりとヒアリングやリサーチをしながら施策をつくりたいと思えます。